

2016年度版 環境管理活動報告書



(株) 近畿分析センター

(対象期間：2015年4月1日～2016年3月31日)



目 次

1 . 近畿分析センターの概要	1 頁
2 . 環境方針	2 頁
3 . 環境に関する認証及び認定	3 頁
4 . 当社の事業運営	4 頁
5 . 環境目的・目標と達成状況	
(1) 2 0 1 5 年度の達成状況	5 頁
(2) 主な活動の状況	6 頁
(3) 2 0 1 6 年度の環境マネジメントプログラム	7 頁
6 . 環境測定結果	8 頁
7 . 教育・訓練活動	1 0 頁
8 . 緊急事態想定訓練・テスト	1 1 頁
9 . 地域貢献活動	1 2 頁
10 . 連絡先	1 3 頁

1 . 近畿分析センターの概要

ごあいさつ

株式会社近畿分析センターは 1972 年 NEC グループ半導体生産会社の研究開発部門から独立する形で誕生し、以来、半導体工場の運営に関わる環境分析や半導体品質分析を基盤にして、分析・調査の技術を蓄積・研鑽してきました。

弊社は「分析・調査のスペシャリストとして、信頼あるデータの提供と問題解決への貢献」をスローガンに、環境分析・材料分析・土壌調査の分野で幅広い課題に取組み、単なる分析・調査結果の提示にとどまらず、お客様の持つ問題の解決に一步でも近づけるような提案により、他分析機関とは一味違う信頼できる存在となるべく努力を続けてまいります。

我々は社員一人ひとりが、NEC グループ唯一の分析・調査会社として崇高な倫理観を持って分析・調査事業を推進することで、お客様の事業発展への貢献と、地球環境の改善や工業製品品質の向上といった社会全体への貢献を果たしていく所存です。

今後とも一層のご活用、ご支援を心からお願い申し上げます。

代表取締役 田中真一

名 称 : 株式会社 近畿分析センター

所 在 地 : 〒520-0833 滋賀県大津市晴嵐二丁目9番1号

TEL 077-534-0651、 FAX 077-533-1604

設 立 : 1972年2月

業 務 内 容

分析事業

環境計量証明 (濃度、騒音・振動、特定濃度 (DXN))

作業環境測定

建築物飲料水水質検査

土壌汚染状況調査

各種製品・材料の分析評価

2 . 環境方針（環境理念と6つの行動指針で構成）

【環境理念】

自然のいとなみを尊重した環境マネジメントを展開し環境にやさしい事業活動をおこなう中で地球環境保全のための信頼される技術と環境ソリューションの提供を行います。

【行動指針】

- (1) 環境動向をすばやく入手し、環境に与える影響を考慮した分析技術の開発に努め価値ある分析とサービスの提供を行います。
- (2) 環境ソリューションを提供するための人材を育成し、積極的な環境情報提供による社会貢献活動を展開します。
- (3) 環境関連法令及び当社が同意したその他の要求事項を遵守し、自主管理基準を設定し、環境管理レベルの向上に努めるとともに、汚染の予防を図ります。
- (4) 環境目的、目標を設定し、それらを達成するための活動計画を策定し、実行し、定期的な見直しを行い、継続的な改善を図ります。
- (5) 環境方針を文書化し、当社で働くまたは当社のために働く全ての人に周知徹底すると共に、環境教育を計画的に実施し、環境への意識向上を図ります。
- (6) 環境方針の積極的な公開と地域の環境保全活動への参加を通じて、社会へ貢献します。

2014年7月1日

株式会社 近畿分析センター

西日本事業所長 安河内英則

3 . 環境に関する認証・認定

環境マネジメントシステムの国際規格であるISO14001の認証を
1998年7月に取得いたしました。

また、2016年7月に更新審査合格、継続中



ダイオキシン類環境測定品質システムに関する認定等

平成27～29年度の環境省受注資格審査に合格

(一般環境大気、公共用水域水質、地下水質、土壌、底質、排出ガス、排水、
焼却灰その他の燃え殻及びばいじん、作業環境)

特定計量証明事業 (MLAP) の認定取得 (2002年7月)

(認定区分大気中のダイオキシン類、水又は土壌中のダイオキシン類)

2014年7月にMLAP更新審査合格、継続中

平成26・04・04評基第001号
平成26年07月23日



認 定 証

株式会社近畿分析センター 殿

計量法第121条の4第2項において準用する同法第121条の2の規定に基づく認定特定計量証明事業者として認定を更新します。

交 付 日	2014年07月23日
認 定 更 新 日	2014年07月25日
認 定 番 号	N-0017-01
事 業 者 の 名 称	株式会社近畿分析センター
住 所	滋賀県大津市晴嵐二丁目9番1号
事 業 所 の 名 称	株式会社近畿分析センター 本社・西日本事業部
所 在 地	滋賀県大津市晴嵐二丁目9番1号
認 定 の 区 分	大気中のダイオキシン類 水又は土壌中のダイオキシン類 (詳細は附属書のとおり)
認 定 の 有 効 期 限	2017年07月24日

独立行政法人製品評価技術基盤機構
理事長 安井 至



4 . 当社の事業運営

循環・共生型社会の実現に向け、良き企業市民として、また分析事業者として、当社が果たすべき二つの社会的責任（CSR）を遂行します。事業運営としては、環境経営を目指して、環境負荷低減活動 製品・サービスによる環境改善ソリューション提供の2つに注力します。

当社が果たすべき二つのCSR

良き企業市民として

事業の実施に伴う
環境負荷を低減する
活動を透明性をもって
展開すること

分析事業者として

公正かつ信頼性ある
試験結果を適正な価格で
より迅速に提供し
社会に貢献すること

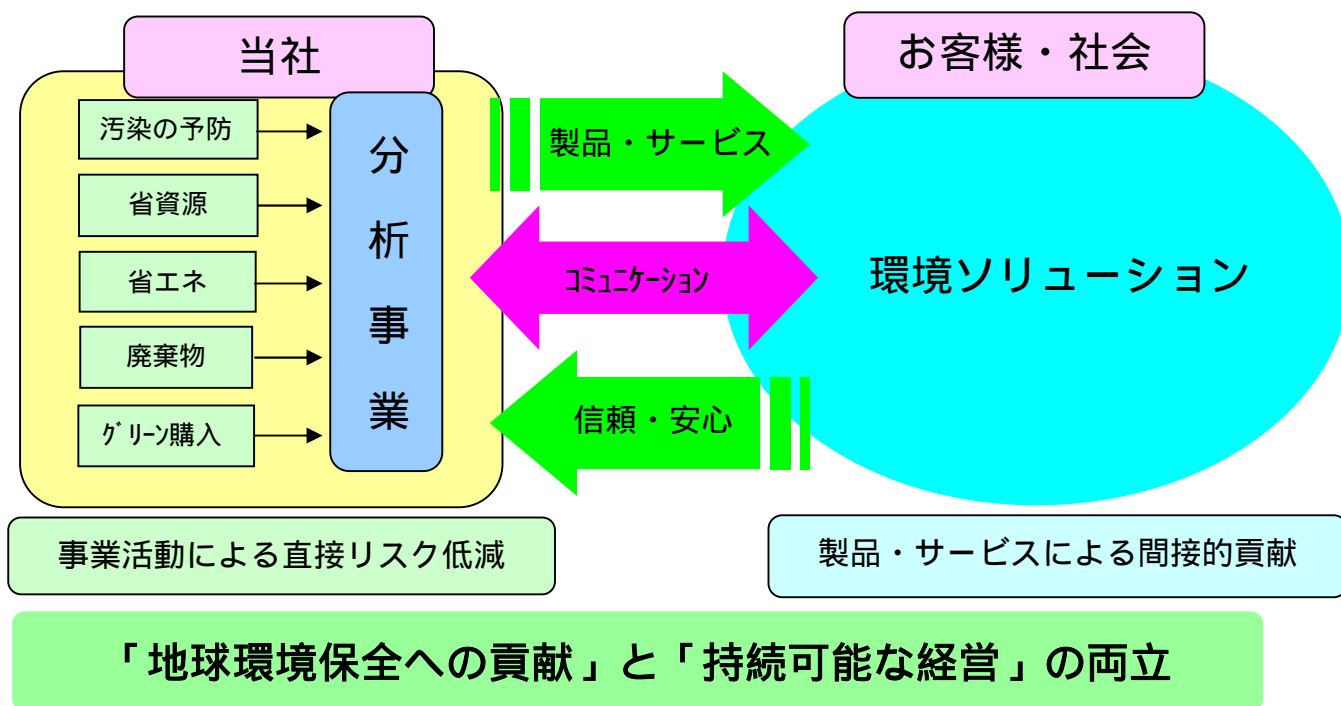


図1 当社の環境ソリューション事業

5. 環境目的・目標（抜粋）

（1）2015年度の達成状況

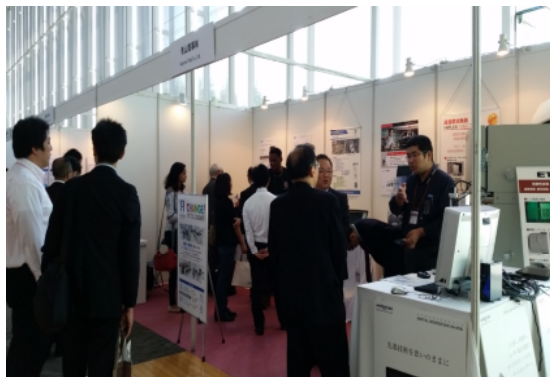
環境目的の項目	管理項目	目標値 (環境目標)	実績	評価	実施内容と成果等
事業活動による環境負荷低減活動					
環境汚染の防止 (排出の監視)	顕在する 不適合の件数	0件/年	0件/年	A	排出点での定期的監視
省エネルギー	二酸化炭素排出 量削減施策 実施件数	3件/年	3件/年	A	消灯活動推進 天井灯、PCの不要時OFF ライトアップ等イベントによる啓発活動 エコカー減税対象車導入
製品・サービスによる間接的貢献を強化する活動					
新規分析評価 技術の拡充	導入件数	2件/年	件/年	A	ポリマー中ベンゼンの定量方法確立 リファクトリーセラミックファイバーの 測定方法確立
環境ソリューションの 提供	環境に関する情 報提供の実施	5回/年	セミナー 7回/年 出展3回	A	しが学び発見(計量協会) 日環協環境セミナー-全国大会支援 滋賀銀ビジネスマッチング 出展 京都スマートシティ EXPO 出展
	問題化解決支援	12件/年	12件/年	A	顧客ニーズに対する情報提供や 資料作成支援及び分析技術の確 立と付加価値サービスの提供
	ソリューション提 供人材育成件数	国家資格 取得5名 セミナー 受講20名 (のべ人数)	国家資格 取得3名 セミナー 受講20名 (のべ人数)	A	国家資格取得 公害防止管理者、化学分析技能 検定、作業環境測定士他 各種セミナー受講による人材育 成の実施及び情報収集
業務効率の改善	提案件数	80件/年	88件/年	A	多くの業務効率向上提案により、 報告納期短縮化による、お客様へ の早期データ提供の実現や作業時 間低減によるエネルギー消費削減 への効果等

評価基準 A：目標達成率100%以上、B：目標達成率75%以上 C：目標達成率75%未満

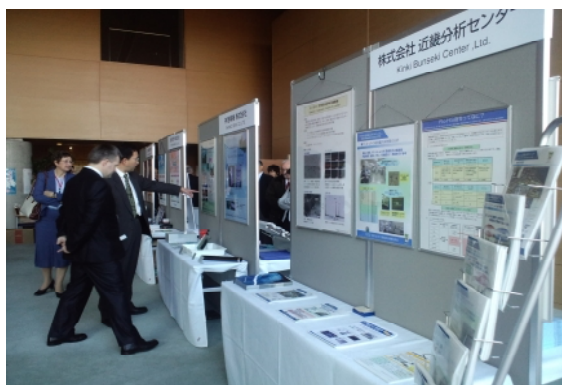
(2) 主な活動の状況



日環協・環境セミナー全国大会 in 大津琵琶湖



京都スマートシティ EXPO



医工連携会議（立命館大）



しが学び発見（計量検定所）



職の担い手実践事業（瀬田工生）



ものづくりコンテスト滋賀大会（龍谷大）

(3) 2016年度の環境マネジメントプログラム

環境目的の項目	管理項目	目標値 (環境目標)	具体的施策
事業活動による環境負荷低減活動			
排出の監視と異常の流出防止	顕在する不適合の件数	0件/年	排水、排ガス処理施設の定期モニター結果の確実なフィードバックによる早期是正。
省エネルギー	二酸化炭素排出量削減施策実施件数	2件/年	省エネ型設備の導入やCO ₂ 削減活動の推進
製品・サービスによる間接的貢献を強化する活動			
新規分析技術の導入確立	導入確立件数	2件/年	顧客要求を満足するための新規分析技術の導入
環境ソリューションの提供	環境情報提供活動	5回/年	環境情報提供セミナー等の開催等 外部セミナー、勉強会の開催 各種展示会への出展
	お客様問題解決支援	12件/年	お客様支援(資料作成、問題解決)のための 情報提供等
	ソリューション提供人材育成件数	5人/年	環境関連資格の取得
		20人/年	環境関連講習会の受講
業務効率の改善	提案件数	80件/年	ムダ取り活動を推進の中で、生産性の改善だけでなく、省エネ、省資源の改善活動の提案を推進。

6. 環境測定結果

(1) 放流水の測定結果(2015年度)

測定項目	測定頻度	規制基準値	自主管理基準値	平均測定値	評価	
有害物質	カドミウム及びその化合物	1回/月	《0.01》	0.002	<0.001	
	シアン化合物	1回/月	《0.1》	0.02	<0.01	
	有機燐化合物	1回/年	不検出(<0.1)	不検出(<0.1)	<0.1	
	鉛及びその化合物	1回/月	0.1	0.02	<0.01	
	六価クロム化合物	2回/年	0.05	0.02	<0.01	
	砒素及びその化合物	1回/月	0.05	0.01	<0.01	
	水銀及びその化合物	1回/月	0.005	0.0010	<0.0005	
	アルキル水銀化合物	1回/年	不検出(<0.0005)	不検出(<0.0005)	<0.0005	
	ポリ塩化ビフェニル	1回/年	0.003	0.0010	<0.0005	
	トリクロロエチレン	1回/月	0.3	0.002	<0.001	
	テトラクロロエチレン	1回/月	0.1	0.0010	<0.0005	
	四塩化炭素	1回/3月	0.02	0.0010	<0.0005	
	ジクロロメタン	1回/3月	0.2	0.04	<0.02	
	1,2-ジクロロエタン	1回/3月	0.04	0.008	<0.004	
	1.1.1-トリクロロエタン	1回/月	3	0.002	<0.001	
	1.1.2-トリクロロエタン	1回/3月	0.06	0.012	<0.006	
	1.1-ジクロロエチレン	1回/3月	0.2	0.04	<0.02	
	1,1,2-トリクロロエタン	1回/3月	0.4	0.08	<0.04	
	1,3-ジクロロベンゼン	1回/3月	0.02	0.004	<0.002	
	チウラム	1回/年	0.06	0.012	<0.006	
	シマジン	1回/年	0.03	0.006	<0.003	
	チオベンカルブ	1回/年	0.2	0.04	<0.02	
	ベンゼン	1回/3月	0.1	0.02	<0.01	
	セレン	1回/年	0.1	0.02	<0.01	
	弗素及びその化合物	2回/年	8	<0.5	<0.5	
	ホウ素及びその化合物	2回/年	10	0.2	<0.1	
	アンモニア、アンモニア化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物	1回/月	100		0.75	
1,4-ジオキサン	1回/年	0.5	0.1	<0.05		
有害物質以外	水素イオン濃度	1回/月	6.0 ~ 8.5	6.0 ~ 8.5	7.5	
	生物化学的酸素要求量	1回/月	《90》	16	2.7	
	化学的酸素要求量	1回/月	《90》	9.0	2.8	
	浮遊物質	2回/年	《90》	2.0	1.2	
	カルシウム抽出物質	2回/年	《5》	1.0	<0.5	
	フェノール類含有量	2回/年	《1》	0.02	<0.01	
	銅含有量	2回/年	《1》	0.10	<0.05	
	亜鉛含有量	2回/年	《1》	0.10	<0.05	
	溶解性鉄含有量	2回/年	《10》	0.20	0.15	
	溶解性マンガ含有量	2回/年	《10》	0.10	<0.05	
	クロム含有量	2回/年	《0.1》	0.02	<0.01	
	大腸菌群数	2回/年	《3000》	100	0	
	アンピシリン含有量	2回/年	《0.05》	0.02	<0.01	
	窒素含有量(総和法)	1回/月	《60》	4.0	0.87	
	燐含有量	1回/月	《8》	0.40	0.09	

注1) 単位は大腸菌群数が個/cm³、その他がmg/Lである。

注2) 規制基準値は、「水質汚濁防止法第3条第1項の規定」、「水質汚濁防止法第3条第3項の規定に基づく排水基準を定める条例第2条の規定」、「滋賀県公害防止条例第9条第1項第1号の規定」に基づくものである。また《 》の測定項目は、当社の規制対象外である。注3) 評価欄の 印は平均測定結果が自主管理基準値以下であることを示す。

(2) 排ガス測定結果 (2 0 1 5 年度)

測定施設	測定項目	測定頻度	単位	自主管理 基準値	平均 測定値	評価
廃ガス洗浄装置 No. 1	硫酸	2回/年	mg/m ³	5	1	
	硝酸	2回/年	cm ³ /m ³	50	<1	
	塩化水素	2回/年	mg/m ³	5	<1	
	弗素及びその化合物	2回/年	mg/m ³	1	<0.1	
廃ガス洗浄装置 No. 2	硫酸	2回/年	mg/m ³	5	<1	
廃ガス洗浄装置 No. 3	硫酸	2回/年	mg/m ³	5	<1	
	硝酸	2回/年	cm ³ /m ³	50	<1	
	塩化水素	2回/年	mg/m ³	5	<1	
	弗素及びその化合物	2回/年	mg/m ³	1	<0.1	
廃ガス洗浄装置 No. 4	硫酸	2回/年	mg/m ³	5	<1	
	硝酸	2回/年	cm ³ /m ³	50	<1	
	塩化水素	2回/年	mg/m ³	5	<1	
	弗素及びその化合物	2回/年	mg/m ³	1	0.1	
有機ドラフト No. 1	ジクロロメタン	2回/年	cm ³ /m ³	40	<1	
	ベンゼン	2回/年	cm ³ /m ³	1	<1	
	臭気指数	2回/年	-	30	<10	
有機ドラフト No. 2	ジクロロメタン	2回/年	cm ³ /m ³	40	<1	
	ベンゼン	2回/年	cm ³ /m ³	1	<1	
	臭気指数	2回/年	-	30	<10	
有機ドラフト No. 3	トルエン	2回/年	cm ³ /m ³	80	<1	
	ジクロロメタン	2回/年	cm ³ /m ³	40	<1	
	臭気指数	2回/年	-	30	<10	
有機ドラフト No. 4	トルエン	2回/年	cm ³ /m ³	80	<1	
	ジクロロメタン	2回/年	cm ³ /m ³	40	<1	
	臭気指数	2回/年	-	30	<10	

注 1) いずれの施設とも規制対象設備ではないため規制基準は適用されない。

注 2) 評価欄の 印は平均測定結果が自主管理基準値以下であることを示す。

7 . 教育・訓練活動

従業員一人ひとりの環境管理に関する自覚と必要な知識及び技能の修得のため、環境マネジメントシステムに基づく教育・訓練活動を積極的に展開しています。

環境マネジメント教育・訓練活動の種類と目的

教育・訓練の種類	目的
環境マネジメントシステム教育	環境方針・目的目標・ISO14001の要求事項に適合することの重要性を自覚
著しい環境影響の可能性のある作業要員への教育・訓練	日常業務を行うために必要な薬品取扱、排水処理、排ガス処理、廃棄物処理に関する遵守事項の徹底
著しい環境影響の原因となりうる作業要員への教育・訓練	薬品管理、排水処理施設運転、排ガス処理施設運転、廃棄物管理の担当者および責任者への必要な知識と技能の修得
社外講習会・セミナー	環境に関する幅広い見識の習得と人的交流の推進
環境関連資格の取得推進	法的に必要な資格取得だけでなく、お客様への環境に関する適切な支援ができる人材の育成

8 . 緊急事態想定訓練・テスト

環境影響評価に基づき特定した環境緊急事態を想定し、定期的な対応訓練及びテストを実施し、リスク削減に努めています。



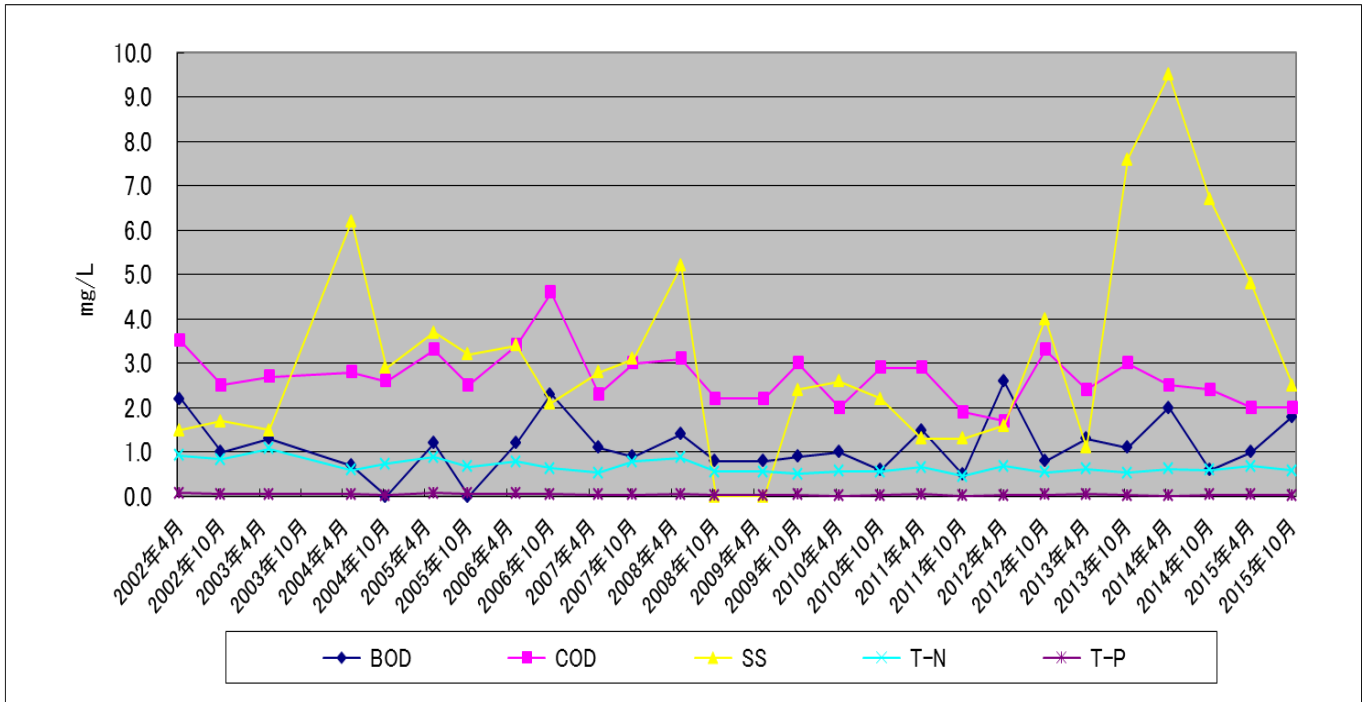
H28.3 特別管理産業廃棄物保管置場で 500L 廃液の搬出時の
落下漏洩事故を想定した訓練・テスト

9 . 地域貢献活動

行政や地域が主催する環境ボランティア活動にも積極的に参加しています。
また、事業所前を流れる盛越川（一級河川）の水質を自主的にモニタリング
しています。



H28.1. びわ湖ヨシ刈りボランティア（雄琴周辺／大津市主催）
～琵琶湖の水質浄化や生物を豊かに育むなどの様々な機能を持つ
ヨシ帯の保護・育成のため、毎年市民ヨシ刈りを実施しています。



盛越川（一級河川）水質モニタリング結果

10 . 連絡先

株式会社 近畿分析センター
 担当部門：環境管理課
 〒520-0833
 滋賀県大津市晴嵐二丁目9番1号
 TEL 077-534-0651
 FAX 077-533-1604
 ホームページアドレス <http://www.kbc-em.co.jp>